

講義名	日本語A（読む）			授業形態	
担当教員	野村 由香里	開講期・曜日・時間	後期 火曜日 1 時限		
		単位数	2	履修開始年次	1 年生

主題と概要

・大学では各分野の専門の論文を読み、最終的には学生自身が卒業論文の執筆をしなければならない。
 ・学術論文を読むに必要な文法知識、構造に関する知識などを学びながら、各自の専門分野の論文を独力で読んでいくための基礎的読解力をつける。

到達目標

・留学生が、専門の学術論文を読むに必要な文法知識や構造に関する知識を身につける。
 ・留学生が、各自の専門分野の論文を独力で読んでいくための基礎的読解力をつける。

提出課題

授業時に指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業時に指示する。

評価の基準

中間試験30% + 期末試験30% + 課題40% = 100%

履修にあたっての注意・助言他

1. 出席確認は毎回点呼を行う
2. 5 回以上欠席した場合は期末試験を受けることができない
3. 授業が始まって 15 分以内の入室は遅刻とみなし、遅刻 3 回で 1 回の欠席となる
4. 1.5 分以上の遅刻は欠席とみなす（授業は受けてもよい）
5. 授業時には辞書を携帯すること

教科書

.大学・大学院留学生の日本語 論文読解編.	アカデミック・ジャパニーズ研究会	アルク	1800	9784757426337
-----------------------	------------------	-----	------	---------------

参考図書

.留学生のための時代を読み解く上級日本語.	宮原 彬	スリーエーネットワーク	2000	4-88319-384-5
.中上級学習者のための日本語読解ワークブック.	目黒 真実	アルク	2400	9784757416222
.上級学習者のための日本語読解ワークブック.	目黒 真実	アルク	2400	9784757419292

その他

日本語の新聞

授業計画

1. 授業ガイダンス / 「異文化適応」
2. 「いじめ」
3. 「衝動買いを誘導する」
4. 「おいしい食事の理由」
5. 「日本人の意識」
6. 「フリーター問題」
7. 中間試験
8. 「安全でおいしい水を飲むために」
9. 「『まじめ』という言葉」
10. 「がむ骨知」
11. 論文を読む 全体構成・序論
12. 論文を読む 本論1
13. 論文を読む 本論2
14. 論文を読む 結論
15. 論文を読む 総合練習

授業形態（アクティブ・ラーニング）

<input type="radio"/> A: PBL (課題解決型学習)	<input type="checkbox"/> I: 反転授業 (知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
<input type="checkbox"/> U: ディスカッション、ディベート	<input type="checkbox"/> E: グループワーク
<input type="checkbox"/> O: プレゼンテーション	<input type="checkbox"/> K: 実習、フィールドワーク
<input type="checkbox"/> K: その他 (A・L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：その日に学習する新しい課の語彙や表現を調べ、文章を読んでおく。(120分)
 復習：その日に学習した文章を読み直し、学習した事柄のまとめをしておく。(120分)
 課題：適宜

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目の修得は流通科学大学の定めるディプロマポリシー「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」の育成に關与している。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考